

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

三国小	学校	児童数	109
-----	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.64	21.49	40.40	42.72	47.69	9.56	155.29	21.45	55.80
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.10	20.24	42.81	39.16	37.18	9.65	147.54	13.81	56.27
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男子は、上体起こし・長座体前屈・反復横とび・立ち幅とび・ソフトボール投げが大阪市平均・全国平均を上回ったが、握力・20mシャトルラン・50m走が全国平均を下回った。

女子は、握力以外の項目で大阪市平均・全国平均を上回った。

体力合計点は、男子も女子も大阪市平均・全国平均を上回った。

児童質問事項「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して肯定的な回答をした児童の割合について、男子は95.7%、女子は92.2%であり、男女とも大阪市平均・全国を平均を上回った。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が9%、女子が17.6%であり、男女とも大阪市平均・全国を平均を上回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本年度も、昨年度に引き続き児童が運動に親しめるような取り組みを実施した。体育委員会が中心となって昼休みに講堂を開放し、各学年の実態に応じた内容で運動に親しむ機会を設定した。また冬には、「なわとびギネス」や「耐寒かけ足」を実施し、寒さに負けない体づくりのために運動する機会を作った。「なわとびギネス」では、休み時間を活用し、委員会児童が中心となり、低学年児童に跳び方を教えたり、教員たちと二重跳びを対決したり、楽しくなわとびに親しむことができる機会を作った。また「耐寒かけ足」では、自分がどれだけ走ったかすぐに分かるような「かけ足カード」を体育委員会の児童で作成し、そのカードを使用して、かけ足に取り組む機会を作った。その結果、児童質問事項「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、男女とも92%以上の児童が肯定的に回答している。

しかし昼休みの講堂開放では、100人以上の児童が一齐にできる運動を設定しなければならないため、活動内容が限られている。各学年・各学級で実態に応じた活動内容を実施できるように日程を調整していく必要がある。